



くすのき

2021.2
第78号

題字 森下啓明
愛知県立成章高等学校PTA発行

目次

- 旅立ちの春に向かって……………1
- 生きているということは……………1
- 親の気持ち……………2
- 3年生担任の先生方から卒業生に贈る言葉 ……3
- 令和2年度3学期部活動結果報告……………4
- ファッションショー……………4
- 販売実習～キャロポタルト・大福～……………4

旅立ちの春に向かって

PTA副会長 渡邊 英一郎



3年生の皆さん御卒業おめでとうございます。

高校生活に夢と希望を持って桜咲く正門をくぐった入学式からの3年間で様々な経験をし、身心ともに大きく立派に成長されました。

高校生活最後の1年だ！と思った矢先の新型コロナウイルス。学校休業、学校行事や部活動の中止や変更。予定を立てる事もままならない状況の中で新たな高校生活を充実させる為に一致協力。そして就職活動、受験勉強も模索しながら多大な努力をしましたね。仲間や先生方と過ごした深く濃い時間を糧とし、今後、幾多の風雪にもめげず、明るい豊かな心の生活を信条として、藩校「成章館」以来、文武両道の伝統を受け継いでいる成章生の誇りと自信を持って大きく羽ばたいていって下さい。

ここで一つ紹介させていただきます。「星の王子さま」の一節に、「ものごとはね。心で見なくてはよく見えない。一番大切な事は、目に見えない。」とあります。このコロナ禍だからこそ、皆さんも目に見えない大切なものを見つけたのではないのでしょうか。いま一度、目を閉じて心で感じてみて下さい。「友情」「愛情」「絆」それぞれであっても、その軸は共に励み共に労る心です。

春には自宅からの通勤、通学や親元を離れての生活が始まります。期待と不安で何かと落ちつかない事があっても、周りを見て下さい。家族、仲間、先生方、地域の方々が居ます。

安心して自ら決めた道を進みましょう。

卒業生皆さんの更なる御活躍を心からお祈り致します。

生きているということは

校長 木藤 政美



成章高校第73回生の皆さん、御卒業おめでとう。高校生活最後の1年間は、コロナ禍で今までにない苦難を経験しました。まだ終息する気配はありませんが、ワクチン接種が始まり、マスクから解放される日が待ち遠しい限りです。

これまでご家族の皆様からの深い愛情、学校生活を共にした友人たちとの切磋琢磨、そしてお世話になった先生方からの叱咤激励があって皆さんは高校3年間で大きく成長を遂げました。自分一人ではほとんど成し遂げられなかったことも、周りの人のお陰で実現できたことが多かったのではないのでしょうか。今後はその感謝の気持ちを忘れることなく豊かな人生を歩み続けてください。

ここで、永六輔さん作詞の「生きているということは」の歌詞を紹介します。

生きているということは
誰かに借りをつくること
生きているということは
その借りを返していくこと
誰かに借りたら 誰かに返そう
誰かにそうしてもらったように
誰かにそうしてあげよう

毎年12月末に開催されている野球部の卒部式において、卒業生一人ひとりがお世話になった父母や先生方、マネージャーに対して、感謝の思いを伝える場面がある。食事の用意、洗濯、送迎等、「当たり前」だと思っていたことが実は「ありがたい」ことであることに生徒たちは気づくのである。

「施されたら施し返す、恩返しだ！」

どこかのテレビドラマで耳にした言葉であるが、恩返し「襷」を繋げて人生を歩んでください。

親の気持ち

PTA副会長 片山悦司



卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。充実した高校生活を送られるはずでしたが、この1年間は新型コロナウイルスの影響で生活は一変しました。休校に始まり、学校行事や部活動の制限、中止、延期など当たり前の日常が崩れ、自分の意思とは関係なく変化が求められて、誰もが不安やストレスを感じてきたことと思います。私も保護者も、度重なる自粛で不安を抱える中、家族で過ごす時間が増え改めて家族の大切さに気付かされました。困難な中でも将来に向けて努力する皆さんを見て本当によく頑張ったなと思います。やりたい事はたくさんある。出来ない事、我慢する事も増えました。きっとそう思うのは自分だけじゃない、わかっているけど不安ですね。私も社会人として働く中でこんな経験は初めてです。けれどこの不自由さの中で考えた事、経験した事は必ず自分の糧として積み重なります。いつもの日常となる頃には見方や考え方も少しは違った景色に見えるかもしれません。皆さんがしっかり生きる事は、先生や保護者、今まで皆さんを応援、支えて下さった方々への最大の恩返しになると思います。

これから皆さんは、新しい進路に進まれます。社会人となる方、次の勉強の場へ進まれる方、皆さんの進む先には可能性しかありません。辛い時期を乗り越えた先には、きっと明るい未来が待っています。目の前の事にしっかり取り組んで、辛くなったら無理せず休んで、自分らしく生きている姿が応援する方々の支えになります。

皆さんは決して一人ではありません。この大変な時期を皆で一緒に乗り越えていきましょう。ずっと応援しています。

PTA副会長 柳原由美



卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。無事に卒業の日を迎えることができ、保護者として大変うれしく思います。

成章高校での3年間、多くのことを学び、大切な仲間と出会えたことと思います。1年前の突然の休校からは社会全体が一変してしまいました。つらい思いや悔しいことがたくさんあったかと思います。それでもみなさんは新たに目標を見つけ、毎日を送っています。いつかこのコロナ禍が歴史のひとつとなった時、それぞれがこの苦難を乗り越えられた一人として、語ることができるでしょう。

この1年でとても感じることは、「思いやり」の大切さです。自分がコロナに罹る不安や恐怖よりも、家族や職場で他人に感染させてしまったらどうしようという心配が先に立ちます。これも周りの人への思いやりの気持ちに通じるといいます。誰でもつい自分勝手な振る舞いをしてしまう時がありますが、思いやりの心はみんな持っているはずです。それを家族や友人に向けて、相手はどんな気持ちになるのでしょうか。社会での良好な人間関係のカギは、「思いやり」だと思います。常に周りのことに気を配り、相手の気持ちを思う想像力が必要なのです。

そして、自分を大切に、相手のことも考えられる人になってほしいと願っています。いつか思いやりにあふれた、明るく笑顔いっぱいの世の中になりますように。輝かしい未来に向け、卒業生のみなさんは希望を持って歩んでください。

最後に、いつも熱心にご指導をいただいた先生方に心より感謝申し上げます。

PTA会計 彦坂 慎



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新型コロナウイルスの影響で、世の中が混迷を極める中、皆さんの努力と先生方のご尽力により、無事卒業の日を迎えられる事をうれしく思います。

私も遠い昔にこの成章高校を卒業しました。高校卒業後、ここ田原を離れていましたが、今はこうして地元へ帰り日々暮らしています。

なぜ田原へ戻ってきたのかと考えると、田原を離れて初めて田原の良さを気づいた事と、地元の友達との人間関係に魅力を感じたからだと思います。

現在、都会への人口集中と地方の過疎化が進む一方、今回のコロナ禍により、仕事は元より色々なコンテンツがリモートで行われるようになりつつあります。卒業される皆さんの中には、地元を離れ生活される方も見えると思いますが、そこで地元の魅力に気づき、地元で暮らしたいと思った時、近い将来リモートワークが進み、都会での利便性を享受しつつ、地元で生活することも可能になります。田原は程よく田舎、程よく都会で、暮らすには良い街だと思います。皆さんも一度地元を離れるとその良さが実感できると思います。

リモートワークと共に、これからの世の中は、色々な仕事がAIに取って代わられると言われていませんか。知識だけを生かす仕事は、AIにはかなわなくなると想像されます。その世の中で、これから人間に求められるのはコミュニケーション能力だと思います。私も実感していますがコミュニケーション能力は、仕事上求められる能力であると共に、プライベートを充実させる為にも大切な能力です。皆さんも高校生活で培った人間関係力を一層磨き、仕事もプライベートも充実させ、豊かな人生を歩んで欲しいと切に願います。

3年生担任の先生方から卒業生に贈る言葉

不諦心～諦めない心をもって～

1組担任 新井田 佑太

『不諦心』これは私が1組のクラス目標として掲げた言葉です。今年度は始まって早々に休校となり、普段の授業や行事、部活動など当たり前にできていたことが当たり前にできなくなってしまいました。皆さんが楽しみにしていたことが無くなり、辛いと感じたこともあったかと思います。この1年間は当たり前のことを当たり前にできることがこんなにも難しくかつ有難いことだと感じた1年だったと思います。そんな中で『不諦心』をもって進路実現に向けて努力している皆さんの立派な姿を見ることができ、とても嬉しかったです。

今までの人生は誰かに支えられながら歩んできたと思います。しかし、これからは様々なことを自分自身でしていかなければならなくなります。これまで助けてもらった分まわりの人たちに支えられるような人になれるように更なる成長を願っています。これから『不諦心』を忘れずに成長する心をもって自分の夢に向かって頑張ってください。卒業おめでとう！

やれるだけやってみよう！

2組担任 瀧 弥生

突然の休校から約1年が過ぎようとしています。高校最後の1年がこんなことになるなんて誰が予測できたでしょうか。最後の総体予選も、最後の体育大会も、最後の文化祭も。誰に文句を言えるわけでもありません。仕方のないことだから悔しいのです。みんなも「やるせない」思いにかられていたことでしょう。しかし、休校があけてからのみんなは、見違えるほどに頼もしく、立派に成長していました。こんなことがあっても、しっかり前を向いて次に進もうとしている姿が、誇らしくもありました。

卒業生の皆さんが生きていくこれからの時代は、今までに経験したことのない、予想もつかない時代です。つらく苦しいことや先の見えないことがたくさんあることでしょう。でも、そんな時は「どうなるかわからないけどやれるだけやってみる」というスタンスで人生を切り開いていってください。卒業おめでとう。これからも夢を語り、希望を持ち続ける人であってください。

新しい門出に

3組担任 大木 碧人

ご卒業おめでとうございます。3年生として過ごしたこの1年間で、自分の将来について今までで1番考えたと思います。悩んだ1年間、頑張った1年間、苦しかった1年間、成長を感じられた1年間、あなたの1年間はどうか。4月からの休校期間もあり、部活動も中途半端な形で終わった生徒も多く、最初は心配もしました。でも、学校再開後、日に日に受験生としてもがき苦しむ姿から、受験生として成長する姿をみることができ、安心しています。まだまだ長い人生の1年間です。これから思い描いた進路を実現させるのも、諦めるのも自分次第です。より一層の努力を重ねてください。この1年間でできなかったことは、違う形で挑戦してほしいです。また、これからの人生で様々な出会いがあります。競い合い、自分を高められる仲間をみつめてください。

成長して皆さんとまた会えるのを楽しみにしています。3年間ありがとう。これからも応援しています。

「頑張る」は繋がる

4組担任 大澤 恭世

「『頑張ること』は繋がる。」NHKの朝ドラ「エール」の中で聞いたこのセリフを、私はクラスに持ち込みました。「『頑張る』は繋がる。～周囲にも、自分の未来にも～」こう言い続けた1年でした。

「最後の」とつくはずの3年生で予定されていた幾つもの楽しい行事を、突然に失ってしまった1年前。いろんな制約の中で、黙々と努力するみんなの姿勢は、間違いなく立派な3年生の姿でした。この「頑張る」は、必ず一人ひとりの未来に繋がるはずです。「エール」の主題歌「星影のエール (GReeeeN)」の歌詞に次のような一節があります。

♪明日はきっと いい天気

青き春もまた そうであれ♪

この原稿を書いている時点では、どんな形で卒業式ができるのかまだ見えない状況です。でも卒業式がどんな形であれ、みんなの旅立ちの日に、みんなの青き春へ、精一杯のエールを送りたいと思います。

卒業おめでとう！

『つながり』

5組担任 藤江 佳奈枝

卒業おめでとうございます。最後の1年が今まで通りとはいかず戸惑うことの多い1年となりましたが、その中でやり抜いてきたことは皆さんの力(財産)となっています。これからの新生活でもこの財産を生かし、様々なことに挑戦してください。辛く苦しいことも多々あると思いますが、それと同じくらい楽しいこともあります。自分の気持ちの持ち方次第です。ただ、苦しいときは自分を見失いがちです。そんなときは周りに助けを求めましょう。皆さんは一人ではありません。これからも『人とのつながり』を大切にしてください。SNSでのつながりも否定はしませんが、直に目と目を合わせ、気持ちを通わすつながりを大切にしてください。そして謙虚さを忘れずに過ごしましょう。これからも応援しています。成長した皆さんに会えるのを楽しみに私も頑張ります。出会えたことに感謝！ありがとう！！



前向きに

6組担任 松岡 結花

今までとは日常が大きく変わった1年となりました。今までとは違うことに戸惑いや不安あったでしょう。ですがそんな中でも、明るく元気にやれる事・やらなければいけない事をしっかりと行い努力している姿を見て、成長を感じ私も負けていられないなと思いました。皆さんには色々な意味でのパワーがあります。これからも現状を悲観することなく、自分にプラスになるように行動していきましょう。考え次第で物事は良くも悪くもなります。ぜひ皆さんにはそれぞれの望む道に進み、素敵な人生を送ってほしいと思います。

高校生活を終えると、社会からの目が大きく変わります。今までの甘えが許されない、厳しい世界になると思います。辛いと思うこともあると思います。しかし、皆さんには一緒に過ごした仲間や先生がいます。私は皆さんを応援しています。いつか会える日を楽しみに待っています。卒業おめでとう！

令和2年度3学期部活動結果報告

令和3年2月現在（太字は県大会以上）

ソフトテニス部

「男子」
第38回愛知県高等学校商業科体育大会ソフトテニス競技（12/20）
男子個人 2位 柳原・大谷組

バレーボール部

「男子」
令和2年度東三河高等学校バレーボール選手権大会（12/12・13）
1回戦 成章 25-12 25-12 新城有教館
2回戦 成章 25-12 21-25 15-4 桜丘
3回戦 成章 25-20 25-16 豊丘
準決勝 成章 13-25 13-25 豊橋中央

「女子」
令和2年度東三河高等学校バレーボール選手権大会（12/12）
1回戦 成章 25-14 25-23 豊橋商業B
2回戦 成章 6-25 12-25 藤ノ花女子A

剣道部

令和2年度愛知県高等学校新人体育大会県大会（団体戦）（12/5・6）
豊田市スカイホール 男子 1回戦 成章1-4春日井南
女子 1回戦 成章0-4一宮西

令和2年度愛知県高等学校新人体育大会（個人戦）（1/11）
豊川工業高校 男子 北悠矢 5位
女子 森下優奈 5位

写真部

令和2年度愛知県高等学校文化連盟写真専門部東三河支部
（12/4～6）

「第33回高校生の写真展」
奨励賞 「ワームホール」 2年 鈴木達也
「茜色に染まる時」 1年 折戸優月

中日写真協会「第1回中日写真展特別部門『高校生の部』公募展」
奨励賞 「Happy birthday to you」 1年 細田琳子

渥美半島フォトコンテスト2020
豊橋鉄道賞 「もうすぐお姉ちゃんが帰ってくるの」
3年 岡田梨花

渥美半島観光ビューロー賞 「独り占め」 1年 細田琳子

吹奏楽部

愛知県アンサンブルコンテスト東三河地区大会（豊川市文化会館）
（12/26）

フルート三重奏 金賞（県大会出場）
バリ・チューバ四重奏 金賞
金管八重奏 銀賞
サクソフォン四重奏 金賞

愛知県アンサンブルコンテスト愛知県大会（知多市勤労福祉会館）
（1/23）

フルート三重奏 銀賞

ファッションショー

生活文化科 3年 大塚沙南 山下スエラ

服のイメージを絵で表すことから準備が始まりました。これはとても難しく、何度も書き直して理想に近づけました。また、私たちは服作りに加えて、ウォーキングの練習にも力を入れました。どう歩いたら、どんなポーズをしたら、衣装が輝いてみえるか、アドバイスしながら練習しました。

当日は、緊張で歩けるか不安でした。しかし、いざ舞台上に立ってみると「楽しい！」という気持ちになりました。いつも教室で笑い合っているクラスの仲間が歩いている姿を見て、自然と涙が出ました。コロナのため、歓声のないショーでしたが、皆さんから大きな拍手をもらうことができ、とてもうれしかったです。



販売実習～キャロップタルト・大福～

総合ビジネス科 3年

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で校外での販売実習が1回しかできませんでした。令和2年12月20日（日）にサンテマルシェで行われた「いこうよ！たはら サンテマルシェ」に出店させていただき、先輩方から受け継いでいるキャロップタルトと大福の販売を行いました。寒い中での販売となりましたが、多くのお客様に購入していただき、完売することができました。地域の方々と触れ合うことができて嬉しかったです。販売実習を通して、準備（人参芋のペースト作業、販売計画、広告作成など）から販売するまでの過程を学ぶことができ、とても良い経験ができました。この経験を財産に今後も頑張っていきたいと思います。

